

教育とナショナルリズム(五) 大井令雄 (4)

主題 学び合う子ども

考え合う子ども 久安敏男 (8)

学び合う子どもの育て方 相部芳徳 (14)

学び合う子ども達に 尾石忠正 (20)

学び合いの芽ばえ 梶田萬理子 (26)

——一年生——

実践

造形表現の基礎的な
技能の体得 小川 満 (34)

童話「スイミー」の学習(その1) 椎木 多栄子 (40)

読みを深める指導について アンサンブルの学習法は 後藤 充郎 (46)

どうあればよいか

保健室と家庭のつながり 矢田 留美子 (52)

——育友会保健部の活動——

■教師の日記 教育への懷疑 中谷内 政之 (32)

■子ども記 子どもの気持ち 千代 宏 (58)

〈実践寄稿〉

子ども自らが活用する教育機器を
めざして ——六年生の子どもが、アナライザー 高井 健一 (60)

○HPをどのように使いこなしていたか——

〈特別寄稿〉

教育の生命 今井 鑑三 (65)

通信 (70)

あとがき (71)

口絵写真……中谷内・大津
序 時……岩井邦夫
表紙・カット……栗林忠男

教育とナショナルリズム(四) 大井令雄 (4)

主題 教材の発掘

算数の教材づくりの新しい視点 齋藤一之 (8)

子どもに生きる教材を 大津昌昭 (14)

——創作曲「白い馬にまたがって」(三年生)から——

図画工作科題材の開拓 小川満 (20)

教材を見直す構え 中谷内政之 (26)

実践

子どもに 千代宏 (34)

生きる民話教材の解釈 杉浦正勝 (40)

問題解決の力を育てる試み(1) 浜田東起夫 (46)

(一年生の体育学習より)

準備運動の充実 岩井邦夫 (52)

「マットを使った連続運動」

の学習指導 その一(六年生)

■教師の日記 長崎で出会った人々 矢田留美子 (32)

■子ども記 回りの子を変える子ども 久安敏男 (58)

〈実践寄稿〉

本当にわかる喜びを求めて 戸河里淑子 (60)

——考えを広め深める操作活動(五年・体積)——

〈特別寄稿〉

創造性とは何か 杉峰英憲 (65)

通信

ありがとう

(70)

(71)

口絵写真……中谷内・大津
序 詞……栗林忠男
表紙・カット……栗林忠男

教育とナショナルリズム (三) 大井令雄 (4)

生活を拓く子ども

生活をつくる子どもを育てる 土谷正規 (8)

考えを聞き合うだけの 授業を楽しむ 片桐清司 (14)

生活を拓く創造的音楽学習 後藤充郎 (20)

一年生の眼を拓く 椎木多栄子 (26)

実践

緊迫した学習 栗林忠男 (34)

マット運動の指導(2) 浜田東起夫 (40)

子どもがつくる 学習のめあて(図工—三年) 小川満 (46)

学級なかよしの実践 その二 (五年生) 岩井邦夫 (52)

■教師の日記 楽しい学習とは 相部芳徳 (32)

■子ども記 高学年一年生なかよしグループ 尾石忠正 (58)

〈実践寄稿〉 図工「便利なボール入れ」の指導 小林正文 (60)

—丸いころがるボールに視点をおいて—

〈特別寄稿〉 人間として強い人間 重松鷹泰 (65)

通信 (70) 口絵写真……後藤・中谷内

あとがき (71) 序 詞……久安敏男

表紙・カット……栗林忠男

教育とナシヨナリズム (二) 大井 令雄 (4)

主題 創造する子ども

創造的表現と個性的表現 栗林 忠男 (8)

数理的な着想を培う教材の発掘 齋藤 一之 (14)

算数を創る子ども達 杉浦 正勝 (20)

創造性を伸ばす体育学習を探る 岩井 邦夫 (26)

実践

文学教材の解釈 千代 宏 (34)

糸でんわのひみつ 大津 昌昭 (40)

「理科学習の記録」による 授業の改善 中谷内 政之 (46)

保健指導計画を立案して 矢田 留美子 (52)

■教師の日記 思うこと・想うこと 土谷 正規 (32)

■子ども記 一年生のころは…… 椎木 多栄子 (58)

〈実践寄稿〉

楽しさのある学習を どう育てるか 中村 美栄子 (60)

〈特別寄稿〉

算数科の指導について 小川 庄太郎 (65)

—一つの実践事例を素材として—

通 信 (70)

あとがき (71)

口 絵 写 真……中谷内・後藤
序 時……片桐 清司
表紙・カット……栗林 忠男

教育とナシヨナリズム (一) 大井 令雄 (4)

主題 表現する子ども

自らの表現に取り組む学習 千代 宏 (8)

表現する子ども 栗林 忠男 (14)

書ける子どもに 浜田 東起夫 (20)

テレビマンガの歌を歌おう 大津 昌昭 (26)

実践

電池と豆電球の明るさを
指導するにあたって 久安 敏男 (34)

考える力を育てる計算の指導
一年生 たし算・ひき算 齋藤 一之 (40)

いい一日の毎日に
——四年生、五日間の学習から—— 片桐 清司 (46)

即興的な創作表現への試み 後藤 充郎 (52)

■教師の日記 「T・Hがくれた電話から」 小川 満 (32)

■子ども記 「現代っ子のオヤジ観」 相部 芳徳 (58)

▲実践寄稿▼ 理科 虫めがねの指導(三年生) 米田 秀俊 (60)

——視点のおき方と実験観察の工夫——

▲特別寄稿▼ 「合科学習」における音楽の表現活動 平 井 建 二 (65)

——奈良女子高等師範学校附属小学校時代の実践を中心に——

通 信 (70) 口 絵 写 真……後藤・中谷内
あ と が き (71) 序 同……杉浦正勝
表紙・カット……栗林忠男

歴史的人間と教育 大井令雄 (4)

主題 思考する子ども

子どもが思考する授業 千代 宏 (8)

科学的思考を育てる指導 久安敏男 (14)

思考力を育てる 杉浦正勝 (20)

思索読み学習法 尾石忠正 (26)

実践

身近な社会的素材による 一年生の合科学習の指導実践 相部芳徳 (34)

「食塩水のこさと重さ」(五年)の実践 中谷内政之 (40)

一年生 一学期における 書く指導について 椎木多栄子 (46)

本校児童の視力 低下状況について 矢田留美子 (52)

■教師の日記 口癖・考 齋藤一之 (32)

■子ども記 「子どもの好きな歌」 後藤充郎 (58)

▲実践寄稿 生きて働く高い学力を求めて 辻本吉三 (60)

▲特別寄稿 言い伝えや常識の検討 水田四郎 (65)

通 信 (70) 口絵写真……中谷内・後藤
あとがき (71) 序 時……浜田 東起夫
表紙・カット……栗林 忠男

学習研究 目次 第二七三号

いま一つの大正期民間教育(下) 大井令雄 (4)

主題 追究する子ども

追究学習による理法の発見 齋藤一之 (8)

子どもの追究を支える要件と 相部芳徳 (14)

追究を支える学級指導の構え 尾石忠正 (20)

造形活動で追究する子ども 小川満 (26)

実践

私の教材研究 杉浦正勝 (34)

——「合同な図形」の研究——
マット運動の指導(一) 浜田東起夫 (40)

けいこ「写真から 片桐清司 (46)

考えを広める」(四年生) 岩井邦夫 (52)

学級なかよしの実践その一(五年生)

■教師の日記 厄日と吉日 栗林忠男 (32)

■子ども記 グループ活動 中谷内政之 (58)

実践寄稿 意識されにくいものにこだわって！ 坂口弘士 (60)

特別寄稿

■ 全人教育の一環としての 曾根靖雅 (65)

■ 図画工作教育に今必要なもの

通信 口絵写真……後藤・中谷内
序 時……大津昌昭
あとがき 表紙・カック……栗林忠男
(70) (71)

学習研究 目次 第二七二号

いま一つの大正期民間教育(上) 大井令雄 (4)

主題 問題に気づく子ども

学習における問題 土谷正規 (8)

問題に気づく子どもを
育てるために 久安敏男 (14)

学習で問題に気づく子ども 相部芳徳 (20)

子どもの活動と学習問題 中谷内政之 (26)

実践

クツワムシを見る 大津昌昭 (34)

——一年生・大森活吾の観察記録——
「くまの子ウーフ」(二年)の
学習記録(その2) 尾石忠正 (40)

わたしが乗ってみたい 小川満 (46)

六年生の音楽学習 乗り物作り(三年生) 後藤充郎 (52)

——新しい器楽合奏教材について——

■教師の日記 班長のリーダーシップ 岩井邦夫 (32)

■子ども記 お母さんの視力検査 矢田留美子 (58)

▲実践寄稿▼
読みを深めること 原田亮 (60)

▲特別寄稿▼

土谷正規先生の体育の授業 小林篤 (65)

通 信 口 絵 写 真……中谷内・後藤

あとがき 序 時……千代 宏

表紙・カット……栗林忠男

学習研究 目次 第二七一号

大正期新教育の社会的背景 (下) 大井令雄 (4)

主題

教材解釈の視点と方法

子どもに生きる教材づくりを 千代 宏 (8)

授業改善の視点 栗林忠男 (14)

低学年の算数教材観 齋藤一之 (20)

楽しさを深める体育指導の視点 浜田東起夫 (26)

実践

面積の指導(四年) 杉浦正勝 (34)

「くまの子ウーフ」の全学習記録(その1) 尾石忠正 (40)

絵を描く 小川 満 (46)

音楽科指導における即興表現への試み 後藤充郎 (52)

■教師の日記 水そうの水はたべられるか 相部芳徳 (32)

■子ども記 年賀状 大津昌昭 (58)

「楽しさ」の一考察 中谷 要 (60)

―続けて動く運動をつくらう―

〈特別寄稿〉 体育を考える 重松 鷹 泰 (65)

通 信 口 絵 写 真……中谷内・後藤

あ と が き 序 詞……中谷内 政之

(71) (70) 表紙・カット……栗林忠男

学習研究 目次 第二七〇号

大正期新教育の社会的背景 (中) 大井令雄 (4)

生題

子どもが育つ要因

学習意欲を高めるために 久安敏男 (8)

「学習に熱中する子ども」が育つ要因 相部芳徳 (14)

子どもが育つ世界の見直し 片桐清司 (20)

子どもを育てる教師の構え 岩井邦夫 (26)

実践

表現活動と教師の姿勢 栗林忠男 (34)

一年生の音楽学習 大津昌昭 (40)

わたしの学級経営 山口はるみ (46)

— 中学年を担当して —

小さな心 矢田留美子 (52)

■教師の日記 「演奏会」 後藤充郎 (32)

■子ども記 どうして 浜田東起夫 (58)

実践寄稿

子どもの知的好奇心と学習 大村稜 (60)

特別寄稿

子どもの心を育てる 霜田一敏 (65)

通信

あとがき

(70) (71)

口絵写真……中谷内・後藤
序 詞……小川 満
表紙・カット……栗林忠男